

1

宝くじからのプレゼント!! (◆コミュニティ助成事業(宝くじ助成事業))
桂川町子ども会指導者連絡協議会に助成

桂

川町子ども会指導者連絡協議会は、児童の校外生活の余暇を利用し、楽しい活動を通じて子どもたちに自ら文化を生み出し、心身ともに健全な児童を育てるための正しい知識と技術を身につけ学ばせる事を目的としている会です。

今回子ども会では、宝くじ助成を受け倉庫とオープンレンジ3台、音響機器を購入しました。

この制度は地域活動の健全な発展を目的に財団法人自治総合センターが宝くじの受託事業収入を財源に行っているものです。今回の助成で整備した備品を活用し、子ども会の活動をより充実させ、子どもたちが元気に遊び交流できる環境を作っていきたいと思えます。



▲「感謝のプレゼントづくり」の様子
 桂川町子ども会主催 (5月10日)



▲ 子ども会の道具類を収納する倉庫



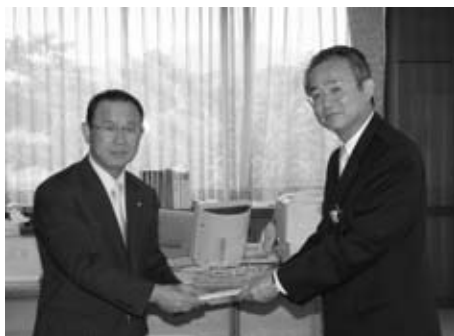
▲ オープンレンジ3台



▲ 音響機器一式

2

飯塚信用金庫が
学校に図書券を寄附



5

月28日、飯塚信用金庫(本店・飯塚市本町)から、町内の小・中学校に図書券(14万円分)が寄附されました。

この図書券の寄附は、大正11年の創立から86年を迎える、飯塚信用金庫が、平成4年12月に迎えた創立70周年の記念事業として始められたものです。本店、支店のある地域の小・中学校69校に対して毎年行っているもので、今回で16回目となります。町長室を訪れた、花村 弘 常務理事は「飯塚信用金庫は、唯一、筑豊に本店のある金融機関として、地域の皆様との縁がなによりも大事。この事業をとおして子どもたちの健全育成のお手伝いできればと思います。」と、寄附の趣旨を述べられました。

これに対し、井上町長は、「教育、福祉に力を入れていく本町としては、大変助かります。大いに役立てさせていただきます。」また、同席した佐谷教育長は、「子どもたちの心と感性に潤いを与える図書の充実に利用させていただきます。」と、それぞれ感謝の言葉を述べました。

3

4月21日発生飯塚市中心商店街火災
災害復興ボランティア

4月21日に発生した飯塚市中心商店街火災の災害復興へ向けた瓦礫等の撤去作業ボランティアに桂川町役場職員36名(飯塚市からのボランティア派遣要請期間10日間で)が参加しました。一日も早い復興をお祈り申し上げます。



▲瓦礫等の撤去作業を行う災害復興ボランティア参加者



▲大火災だったことを表わす、消失した飯塚商店街・樽屋町付近。